

【委員会における議論のポイント】

今回の格付け結果は、B評価が1名、C評価が7名と、比較的低い評価となった。

委員が高い評価をした点は、以下の諸点である。

- 委員構成、調査機関、調査体制などは十分であったと認められること
- FXNZ、FXAP、FXに対する精度の高い調査が行われ、詳細な事実関係が認定され、事実認定の正確性、深度、説得力が認められること
- 調査報告書全体としての公共財的価値が高いこと

他方で、委員が低い評価をした点は、以下の諸点である。

- 原因分析と再発防止についての調査や言及が不足しており、原因分析の深度、不祥事の本質への接近性、組織的要因への言及、再発防止提言の実効性、説得力が不足すること
- FXまではよく調査しているものの、その親会社であるFHに対する事実調査が不十分であること

以上